

2025年度 通信教育実施計画

教科	家庭	科目	家庭科	単位数：4 単位
指導目標 人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に修得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
スクーリング	1単位時間×16回	合格時間数：4時間以上	教科書	家庭総合 自立・共生・創造
レポート	全8通	合格通数：8通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全40回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	家庭科の学び方 家族・社会との共生 ・人生をつくる	家庭科の学習が、家族・社会との共生、生活の自立、生活の創造につながることを理解し、学習に対する意欲を高めさせる。 各ライフステージの特徴と課題、生活課題に対応した意思決定、男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性などを、家庭生活の在り方、家族・家庭に関する基礎的な法律、現在の状況や、ワーク・ライフ・バランス考えた上で理解させる。	前期8回	No. 1 No. 2 No. 3 提出	No. 1 No. 2 提出
5月	家族・社会との共生 ・子どもと共に育つ	出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階、人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わり大切さ、遊び・生活習慣の形成、食事・健康管理、愛着の形成と親としての成長、子どもを取りまく社会変化の現状を理解させる。 子どもを産み育てることの意義や保育の重要性について考え、子どもの健やかな発達を支えるために親や家族など社会の果たす役割の重要性を考察する。		No. 4 No. 5 提出	No. 3 No. 4 提出
6月	家族・社会との共生 ・共に生き、共に支える	一生を通じた福祉や社会的支援の必要性、社会保障制度の理念と内容、多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念の理解を高める。			
7月	生活の自立 ・食生活をつくる	食生活の変化や課題、日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質についての科学的な理解、食事摂取基準・食品群別摂取量の目安、食品の選択や調理の安全など、生涯を通じて健康で安全な食生活を営む力を身につける。			
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
9月	復習	半期の学習内容の復習	後期8回	No.6 No.7 No.8 提出	No. 5 No. 6 提出
10月	生活の自立 ・衣生活をつくる	衣生活を取り巻く課題、日本の衣文化など、被服と人との関りについて理解を深める。 被服の役割、被服材料の機能や特徴、被服の始まりなどを学び、これからの生活に生かしていく。			
11月	生活の自立 ・住生活をつくる	住居の機能や基礎知識、間取りや動線、ライフステージに合った住居、室内外の環境、安全性・快適性を考慮する必要性、気候風土に応じた住居や住まい方の工夫、さまざまな住様式、住環境における地域社会とのつながりの重要性、持続可能な住生活について学習する。			
12月・1月	生活の自立 ・経済生活を営む	高校卒業後の経済的自立と職業について主体的に考える必要性、家計管理の重要性、キャッシュレス社会のメリット・デメリット、契約・消費者信用・多重債務問題、消費者としての適切な判断、消費者の権利と責任の理解、持続可能な生活、消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスの理解を深める。			
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
			単位認定試験		